

平成23年度 大学の世界展開力強化事業構想の概要【キャンパス・アジア中核拠点形成支援】

大学名	早稲田大学
構想名称	アジア地域統合のための東アジア大学院(EAUI)拠点形成構想
相手大学等名 (国名)	北京大学(中国)、高麗大学(韓国)、 タマサート大学(タイ)、ナンヤン工科大学(シンガポール)

【構想の目的及び概要】

1. 構想の背景と目的

グローバル化のもとで東アジア地域では実質的な経済社会統合が進展している。近年では各国政府が積極的に地域協力制度を強化するだけでなく、「東アジア共同体」や「APEC 共同体」などの地域共同体構想も提唱されている。これらの地域協力や地域統合の推進は、東アジア地域の平和と繁栄のためだけでなく、地球環境問題などのグローバル・イシューの解決や日本社会の新たな成長のためにも必要である。こうした点をふまえ、本構想は「地球益」と「地域益」の実現に貢献できる高度な専門性を持った人材育成を目的とした東アジア大学院 (East Asian University Institute : EAUI) の構築を目的とする。

2. 構想の概要

早稲田大学アジア太平洋研究科と北京大学、高麗大学、タマサート大学、ナンヤン工科大学の4大学との間で、「アジア地域統合プログラム」を設置し、単位互換、成績管理及びダブル・ディグリーの協定を締結する。各相手先に各学期5名の学生(修士および博士)を4大学に派遣(年間40名)し、相手先大学からは各学期5名(年間40名)を受け入れ、コースワークにより8単位を付与する。また夏・冬学期においてサマー/ウインター・スクールを5大学が持ち回りで開催し、2単位を付与する。5大学の教職員合同会議を同時に開催し、学生支援体制の強化、教育方法や運営の統一化・共同化の協議を行う。実施内容や進捗状況については第三者組織である評価委員会を設置し、助言を受ける。

3. 構想の将来像：2020年の東アジア大学院(EAUI)開設に向けて

早稲田大学のイニシアティブにより、平成32年を目途にヨーロッパのエラスムス計画や欧州大学院(European University Institute: EUI)に匹敵する永続的なアジア地域統合のための大学院教育拠点の開設を目指す。今回の提携相手先は全て既に当研究科とダブル・ディグリーや箇所間協定などの密接な交流実績を持っている。提携先との関係は、まずは早稲田大学を中心としたハブ&スポーク型で開始するが、数年のうちにネットワーク型、そして面を成す一体型の大学院となることを目指す。

4. 育成する人材の目標：アウトプットとアウトカム

本構想は、アジア地域統合の進展及びEAUI開設をアウトカムとする。そのため、5大学による「アジア地域統合プログラム」を設置し、高度な専門性を持つ人材の育成をアウトプットとする。本プログラムには5年間で総計280名(派遣140名、受入140名)の大学院生が参加し、課程別の内訳は修士220名、博士60名となる。修士のうち110名は各国政府および国際公務員などの公共セクター、80名は国際NGO、多国籍企業、メディアなどの民間セクターに就職し、30名は博士後期課程に進学する。博士60名のうち40名は地域統合の指導的研究者となり、20名は公共・民間セクターで指導的地位に就き、地域統合政策を直接推進している。全修了生はOB会を結成し、強固なネットワークでつながる。

5. 構想拠点としての早稲田大学アジア太平洋研究科

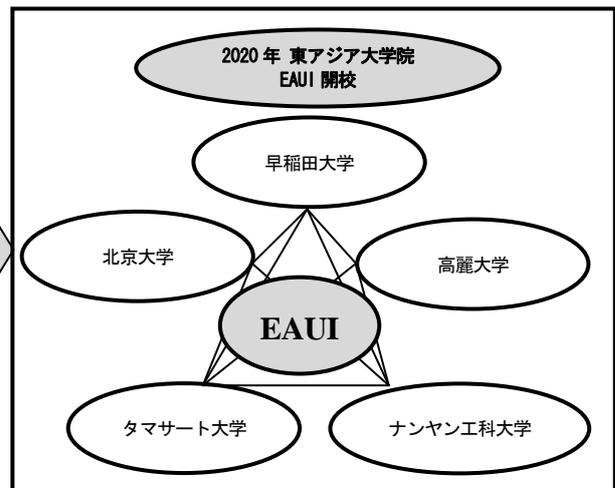
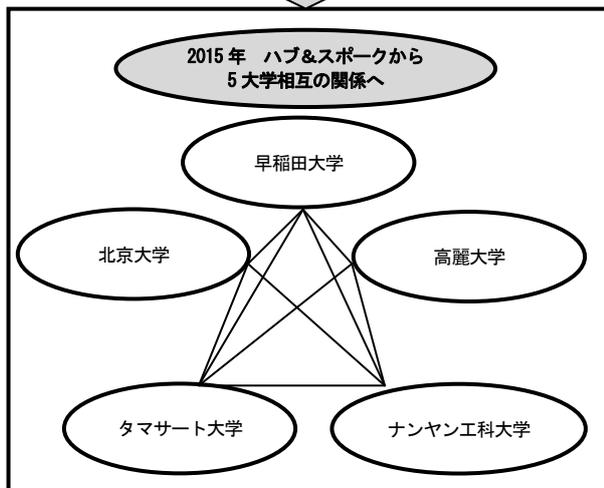
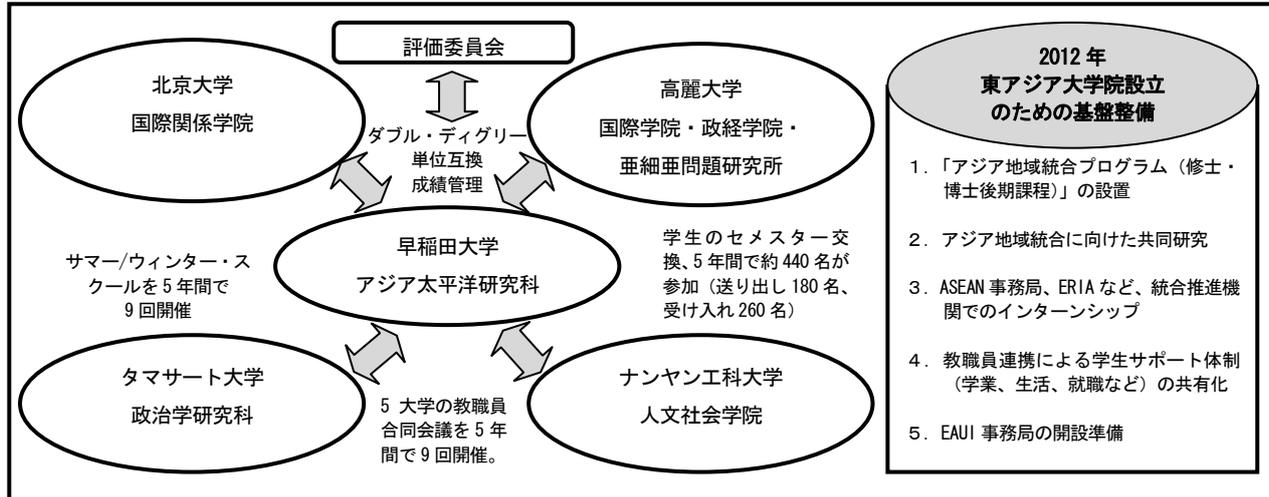
当研究科はアジア地域のような問題を専門的に扱う世界最大規模の大学院であり、日英の2言語システムで教育を行ってきた。世界的大学ネットワークであるAPRUやAPSIAにも加盟している。近年は、「東アジア高度人材養成共同化プログラム(大学院GP)」(平成20年から3年間)と「アジア地域統合のための世界的人材育成拠点(グローバルCOE/GIARI)」(平成19年から5年間)を通じて、アジアにおける人材育成拠点を形成してきており、今回のEAUI設立構想は、より国際的な展開を意図するものである。

平成23年度 大学の世界展開力強化事業の概要【キャンパス・アジア中核拠点形成支援】

[構想の概念図]

アジア地域統合のための東アジア大学院 (EAUI) 拠点形成構想
East Asian University Institute for Asian Regional Integration

【目的】 「地域益」の実現に貢献できる高度な専門性を持った人材育成
一修士は高度専門家、博士は包括的高度専門家にー



永続的な地域統合教育の拠点形成へ

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科を中心としていた大学間の連携が、5大学それぞれがネットワークを構築し、単位互換やダブル・ディグリーなど、相互に交流できる体制を構築し、EAUIの開設につなげていきます。

EAUIでは地域統合のための高度専門教育カリキュラムを実施。移動を伴うプログラムも、学生が安心して参加できるような環境が整備されています。

EAUIからは、高い専門性と幅広い知識に裏付けされたリーダーシップを備えている人材の輩出を目指します。EAUI出身者は、各国政府および国際公務員、国際NGO、多国籍企業、メディアなどでの活躍が期待されます。

地域関連政策に直接参加・影響を与える立場であり、強固なネットワークでつながっています。

これまでの早稲田大学大学院アジア太平洋研究科の交流実績

1. 大学・箇所間協定による独自プログラム

	交換留学	ダブル・ディグリー	サマー・スクール	サマー・インスティテュート
北京大学	○	○	○	○
高麗大学	○			○
タマサート大学	○			
ナンヤン工科大学	○	○		

2. サマー・スクール

北京大学/ソウル大学/早稲田大学の3校が合同で、夏季に短期集中講義を行ってきました。これまで各校から毎年10名の学生の参加実績があります。

3. ダブル・ディグリー・プログラム

これまでアジア太平洋研究科では、北京大学と双方向によるダブル・ディグリー・プログラムの基盤を整備してきました。北京大学の博士後期課程の学生に、3年間の学籍を与え、そのうち2年間をアジア太平洋研究科で指導を受けます。これまで約10名の学生が学位を取得しています。

4. アジア地域統合に関するプログラム

「アジアにおける地域主義・「多国間主義」、「ASEAN 地域経済統合論」、「アジア統合に関する質的・量的分析手法」など、アジア地域統合に関する特徴的な科目を用意しています。

5. 教育ネットワーク

APRUに加えて、国際関係専門の世界的教育ネットワークである APSIA にも加盟しています。

平成23年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	早稲田大学
タ イ プ	A-II
構 想 名	アジア地域統合のための東アジア大学院（EAUI）拠点形成構想
<p>〔評価コメント〕</p> <p>政治的課題を抱えながらも、経済や文化、人的交流など多面的かつ実質的な関係強化が進む東アジアの次世代リーダー育成にとって、アジア諸地域を体験し、各社会におけるアジア地域統合へのアプローチを考察し、人的ネットワークを形成することは重要である。将来的には一体化した大学院構築の構想のもとに、修士・博士課程の学生交換、共同カリキュラムによる単位認定、ダブル・ディグリー、教育と研究の同時推進等により、ハブ&スポーク型からネットワーク型への展開を図ろうとする本計画は、こうした東アジアにおける地域統合の現状に照らしてみても、大きな意義を有しており、意欲的である。</p> <p>貴学は、大学全体として国際化を進めており、また、申請された研究科は設置以来、アジア諸国の大学との連携や大型プロジェクト等による研究交流・人的交流を蓄積し、本計画参加校との間に緊密かつ実質的な関係を構築しており、本構想の実施には十分な現実性がある。</p> <p>なお、目的とする人材像や、具体的な研究内容、教育内容について十分に明確化されているとはいえないため、さらなる検討が望まれる。</p>	